

ガラス厚	12・13mm	14mm	15mm	16mm	17mm	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
製品記号	SGBC1	SGBC2	SGBC3	SGBC4	SGBC5	SGBC6	SGBC4	SGBC5	SGBC6	SGBC7
要領	↓									
先付けビード	↓					↓ 先付け割ぎ取り				

●この説明書は、必ず組立て・施工される方にお渡し下さい。
 ●本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示

絵表示	意味
	取り扱いは、必ず組立て・施工される方にお渡し下さい。使用が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので「必ず行っていただく事」を示しています。

●この説明書は両面印刷です。必ず裏面もお読み下さい。
 ●組立て及び取付けは、所定のねじを使用して最後まで締付けて下さい。
 締付不足は漏水事故の原因になります。

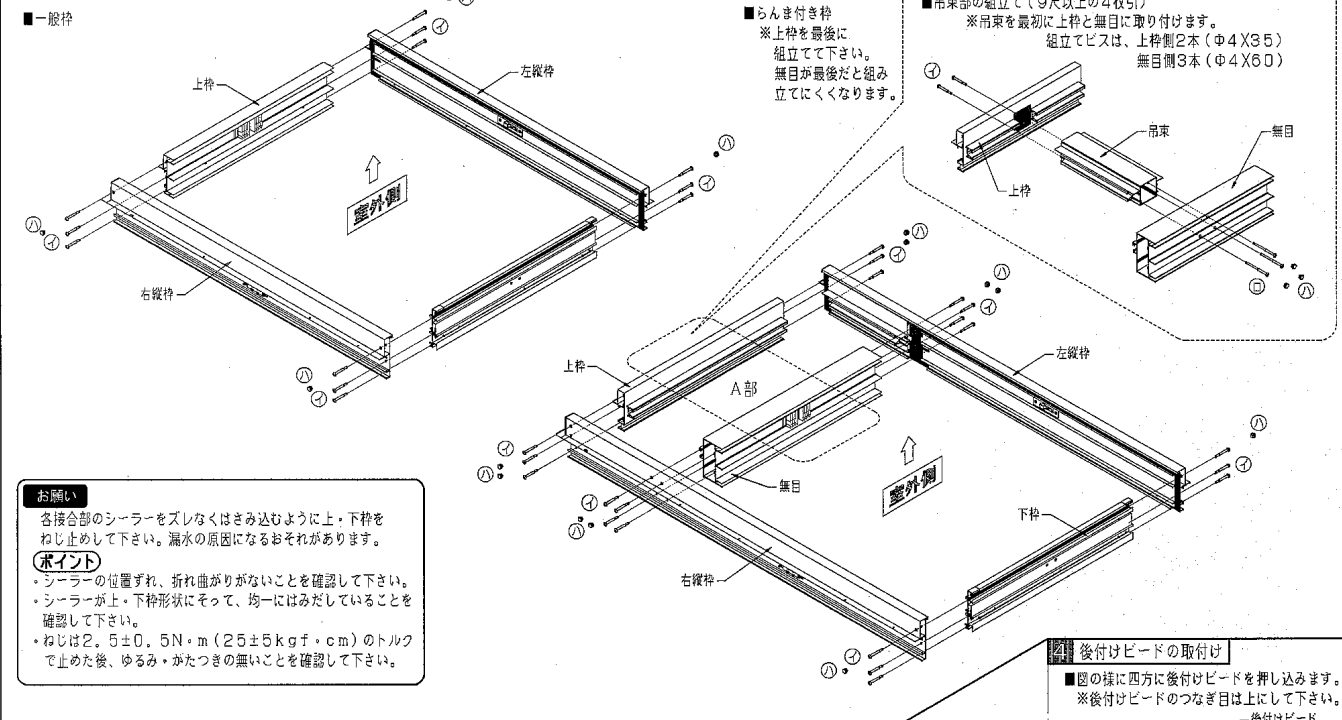
●後付けビードは別売りです。ガラス厚に応じて選択して下さい。
 ※後付けビードの嵌め込みがきつい場合は、後付けビードに中性洗剤等を塗布すると嵌め込み易くなります。お試し下さい。
 ※専用後付けビード(割ぎ取り式ビードもご用意しています。詳しくはカタログをご参照下さい。)

ビスセット一覽

①	②	③
種組立用	吊束組立用	穴蓋ぎヤップ
なべタッピンネジ φ4×35	なべタッピンネジ φ4×60	

枠の組み立て

●同種のビスセット内のネジで確実に組み立て下さい。
 ■一役枠



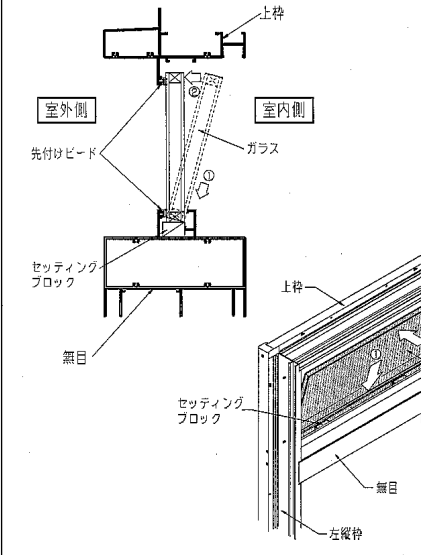
お願い
 各接合部のシーラーをズレなくはさみ込むように上・下枠をねじ止めて下さい。漏水の原因になるおそれがあります。

ポイント
 ・シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないことを確認して下さい。
 ・シーラーが上・下枠形状にそって、均一にはみだしていることを確認して下さい。
 ・ねじは2.5±0.5N・m(25±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・たがつきの無いことを確認して下さい。

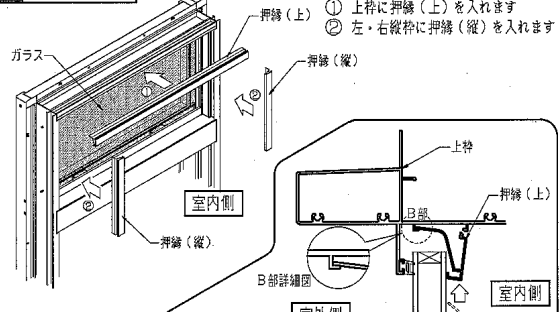
②らんま部のガラスの建て込み

- ① ガラスを無目ガラス溝に入れこみ、セッティングブロックの上に載せます。
- ② ガラス上面を矢印の方向に押し垂直にします。
- ③ 枠とガラスのチリを左右均等になるように調整して下さい。

お願い
 ガラスがしっかりとタイト材に当たっている事を確認し、押縁の嵌め込み及び後付けビードの嵌め込みを行って下さい。ガラスと先付けビードの間に隙間があると押縁及び後付けビードが嵌め込みにくく原因になります。



③押縁の嵌め込み



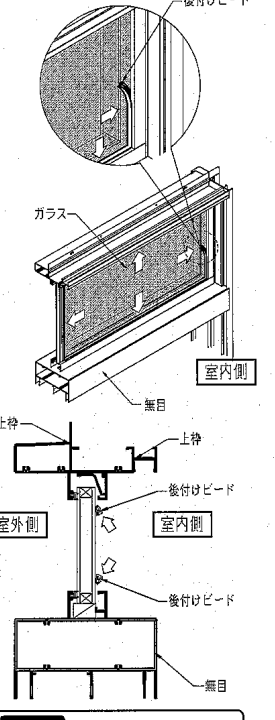
お願い
 押縁が完全に嵌っているか、必ず確認下さい。嵌合が不完全の場合、押縁が外れガラスが倒れる危険性があります。

②嵌合確認

✗ 嵌合不良
 ○ 嵌合OK
 ○部が嵌っている(嵌ったときにパチンと音がします)

後付けビードの取付け

■図の様に四方に後付けビードを押し込みます。
 ※後付けビードのつなぎ目は上にして下さい。



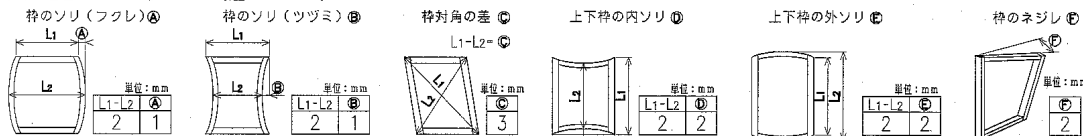
お願い
 ガラスの脱落防止の為、後付けビードはしっかりと極元まで押込んで下さい。

枠の取り付け

■施工上のお願

- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量が下枠にかかります。下枠が下がらないようにモルタルを充てて下さい。
- 枠は必ず指定の木ねじにて固定し、下枠のモルタルが固まった事を確認してから障子を建込んで下さい。
- 施工前には必ず下げ振り、水準器で開口部の水平・垂直・対角及びねじれの無い事を確認して下さい。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず家屋の損害の原因になります。

※枠の施工の際には、以下の寸法をお守り下さい。
 『性能の低下』『開閉が重くなる』『鍵がかからなくなる』
 『扉が建込めなくなる』といった原因になります。

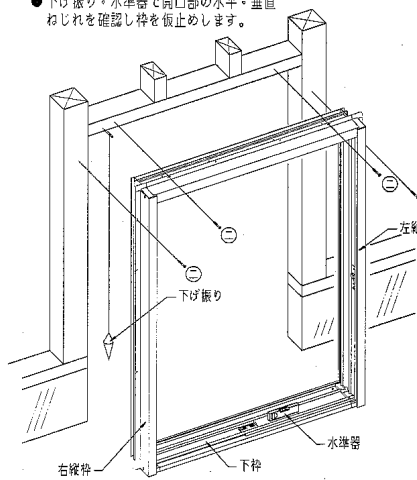


ビスセット一覧

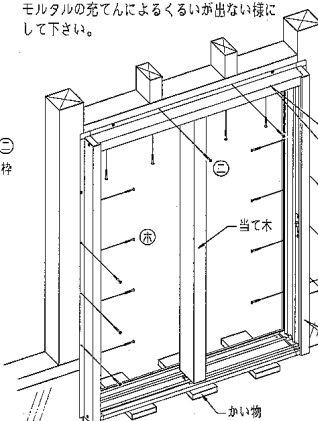
① 枠取付け用 特平皿木ねじ φ3.8 x 32	② 扉取付け用 特平皿木ねじ φ3.8 x 38
--------------------------------	--------------------------------

※上記ねじは余分に入っている場合があります。

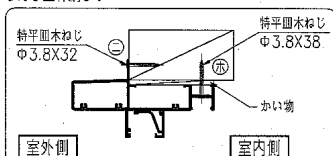
- 下げ振り・水準器で開口部の水平・垂直・ねじれを確認し枠を仮止めます。



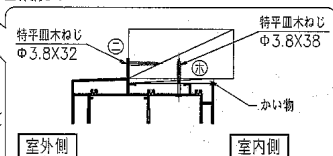
- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・割れ・ゆがみを直した後、本固定します。
※下枠は、かい物・当て木などを用いて水平を出しモルタルの充てんによるくいが出ない様にして下さい。



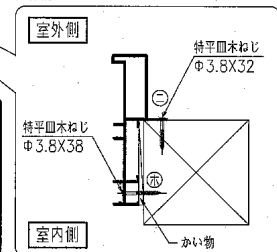
らんま上枠納まり



上枠納まり



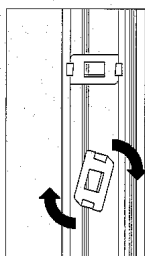
縦枠納まり



別売アンカーの取付

アンカーを取り付ける場合は、下図のようにアンカーを枠の取付部に差込み、回転させて固定して下さい。
 縦枠・下枠も同様に取付けて下さい。

アンカーは400~450ピッチで取付けて下さい。



上枠アンカー納まり図

お願い

- 土間仕上げ高さは2mm以下にして下さい。室内側より細戸の取付け・取外しが出来なくなります。

ポイント

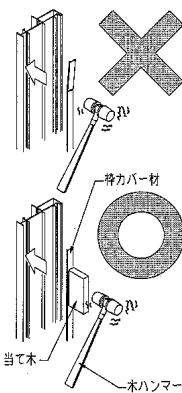
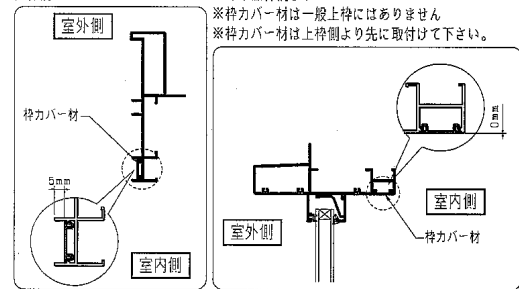
- ※枠取付ねじは2.0±0.5N・m(20±5kgf・cm)のトルクが目安です。締めすぎると枠の変形や歪みの原因となるおそれがあります。
- ※室内側のねじ②固定の際は、歪み防止の為躯体と枠のすき間に必ずかい物(木片等)をはさんで、すき間の調節を行って下さい。(右図参照)

枠カバー材の取付け

枠の取付け後、図のように縦枠およびらんま上枠に枠カバー材を取付けて下さい。

- お願い**
- 枠カバー材は樹脂製です。取付けの際は、あくをして部材変形・破損しないように注意しながら木ハンマー等でたたき込んで下さい。

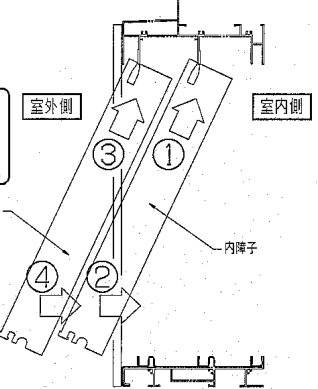
縦枠納まり



障子の建込み

- 障子本体はかなりの重量があります。作業は必ず2人以上で行って下さい。

- お願い**
- 格子デザインの場合、格子部を持って建込まないで下さい。格子が破損・変形するおそれがあります。



障子の縦付け調整

※納品時、戸車は障子が最も下がった状態になるようセットされています(戸車調整幅:上方向に6mm)



※少し障子を開いて、縦枠と縦框が平行になるように戸車を調整して下さい。
 ※縦枠と縦框が平行でない場合は、戸車調整を行って下さい。

■戸車調整

- 障子の納まりが悪い場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・スレを直し、縦枠と縦框が平行になるように調整して下さい。

■召合框下部品(ワイパー)の調整

- 障子を閉めた状態で、内・外召合框下部品のねじを緩め、下枠中央にある気密材に当たるようにねじを締めセットしねじを締めて下さい。(内・外召合框の下部品は、ヒレ保護のため出荷時に上げてあります。必ず下げてすき間をなくして下さい。)

